

● SYGN HOUSE

**B+COM**  
Bluetooth Communication system

B+COM ブルートゥースコミュニケーションシステム

TYPE : SB213.EVO

# ユーザーズマニュアル



**⚠ WARNING 運転中は安全運転を最優先として B+COM をご使用ください。**

## はじめに

サインハウス「B+COM (ビーコム) ブルートゥースコミュニケーションシステム SB213.EVO」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

B+COM SB213.EVO は最新のデジタル無線技術「Bluetooth2.1+EDR」を採用しています。

キットをヘルメットに装着して、携帯電話でのハンズフリー通話、ミュージックプレーヤーの音楽やポータブルナビなどの音声のリスニング、タンデムライダーやペアライダーとの会話を外部に配線を引くことなくワイヤレスで快適に楽しめる、新しいコミュニケーションツールです。

本製品を安全に、良好な状態で、未永くお使いいただくために、ご使用前に本ユーザーズマニュアルを必ずお読み下さい。

ユーザーズマニュアルは保証書も兼ねておりますので、大切に保管して下さい。

## ご注意

- ・本ユーザーズマニュアルに記載されている内容を無断転載することは禁止されております。
- ・製品の仕様、ならびに本ユーザーズマニュアルの内容は、予告なしに変更することがあります。
- ・本ユーザーズマニュアルの内容に関してご不明な点などがございましたら、弊社 WEB サイト ([www.bolt.co.jp](http://www.bolt.co.jp)) をご覧いただくか、「保証書」に記載されている連絡先までお問い合わせください。
- ・「Bluetooth」は、Bluetooth SIG,Inc. の登録商標であり、サインハウスはライセンスに基づいて使用しています。
- ・本製品は電波法に適合する TELEC の認証を取得し、日本国内での使用許可を得ています。  
※ 海外では、国により電波使用制限があるため、本製品を使用する場合は現地の規定をご確認ください。

## 目次

- ① B+COM SB213.EVO の主な特長
- ② 重要なお知らせ
- ③ セット内容
- ④ 安全上のご注意
- ⑤ 電池に関するご注意
- ⑥ Bluetooth について
- ⑦ 使用前の準備 (充電の仕方)
- ⑧ B+COM SB213.EVO の各部名称と機能
- ⑨ 楽しさ広がる便利なオプション品
- ⑩ ヘルメットへの装着方法
- ⑪ 電源の ON/OFF、ボリューム調整
- ⑫ 各機器と接続するための準備  
～ペアリング (初期登録) 方法～
- ⑬ 各機器と接続して楽しむ
- ⑭ リセット操作
- ⑮ LED 点灯パターン
- ⑯ インターネットによるプログラムアップデート
- ⑰ トラブルシューティング
- ⑱ B+COM SB213.EVO 仕様 / 保証書

## SB213.EVO ならバイクがさらに楽しくなります！

B+COM SB213.EVO は、Bluetooth 無線技術と弊社独自のノウハウでバイクに乗りながらこんなことができます！オプション品を使えばさらに楽しさ倍増。

### バイク同士や 2 人乗りでいつでも会話し放題！



### 音楽やナビの音声案内がきける！しかも超高音質！

Bluetooth の無い音楽機器は  
トランスミッター (送信機) が必要です！

B+COM のトランスミッターは、  
使用時間が長い！2 人で音楽がきけます！



### 走りながらケータイに出て話せて、発信もできる！

ケータイ 2 台の使用も可能！  
ケータイの音楽も聞ける！



### 全てはヘルメットへの配線が無いワイヤレスで快適！

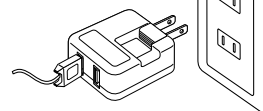
### 保証書 (本書裏ページ) が無い場合は、 いかなる理由でも保証対象外です！



### 本体ユニット以外は保証対象外、 消耗品です！

無くした、、、 破損した、、、 接触が悪くなった、、、  
等の使用過程での紛失、破損、消耗の場合は、リ  
ペアパーツまたはオプション品をご利用ください。

### 充電式



### バッテリーの劣化は保障対象外です！

本製品はバッテリー内蔵の充電式です。  
まずご購入したら必ず充電してください。  
残量が低下したまま保管すると短時間で劣化して使  
用できなくなります。(電源が入らない、充電しても使用時間が短い等)

※バッテリーが劣化した場合は有償修理を承ります。

◎使用後は充電してから保管しましょう！

### 本製品は防滴構造で、 完全防水構造ではありません！



ヘルメットに装着して被った状態で防滴性が発揮され  
ます。それ以外の場合 (逆さに置いた状態など)、防  
滴性が損なわれる恐れがあり、それらによる雨水の侵  
入は保証対象外となるとともに基盤が破損する恐れが  
ありますので取扱は充分ご注意ください。

◎激しい大雨が予測される場合はご使用を控えましょう！

### SAFTY



◎マイクの扱いもやさしく！

### 本製品およびヘルメットの取り扱い、 大切に、そして慎重にやさしく！

ヘルメットは安全を守る大切なギアです。そのヘル  
メットに装着して使用する事を想定して設計されてお  
り、強い衝撃や無理な力での取り扱いに耐えうる強度  
は有していません。大切にしてください。

製品パッケージには以下のパーツがセットされています。ご使用前にすべてが揃っていることをご確認下さい。万が一不足がございましたら、お手数ですがお買い求めいただいた販売店までご連絡下さい。

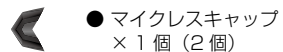
※カッコ内は「ペアユニット」にセットされている数量です。



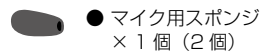
- アーム型マイク (150mm)  
× 1本 (2本)



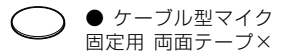
- ケーブル型マイク (250mm)  
× 1本 (2本)



- マイクレスキャップ  
× 1個 (2個)  
※本体に装着梱包



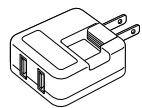
- マイク用スポンジ  
× 1個 (2個)



- ケーブル型マイク  
固定用 両面テープ×  
1枚 (2枚)



- スピーカー固定用調整パッド  
× 4枚 (各8枚)



- 充電用 AC アダプター  
(デュアルアウトタイプ)  
× 1個



- SB213.EVO  
本体ユニット× 1台 (2台)



- ヘルメット用高音質  
ステレオスピーカー  
× 1個 (2個)



- ワイヤークリップタイプ  
ヘルメット取付ベース  
× 1個 (2個)



- 貼り付けタイプ  
ヘルメット取付ベース  
× 1個 (2個)  
※本体に装着梱包



- 本体保護用パッド厚・薄  
(クリップベース用)  
× 各 1枚 (各2枚)



- 面ファスナー  
(貼り付けベース用)  
× 1枚 (2枚)



- スピーカー固定用 ベルクロテープ× 2枚 (4枚)



- 充電用 USB ケーブル  
(データ通信時必要)  
× 2本



- データー通信用 USB ア  
ダプターケーブル× 1本

- ユーザーズマニュアル本書 (保証書) × 1部

- B+COM SB213.EVOは精密部品で構成された電子機器です。ご使用になる前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
- ユーザーズマニュアルには、お使いになるあなたや、他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全なご使用のために守っていただきたい事項を記載しています。
- お子様がお使いになる場合は、保護者などの大人がユーザーズマニュアルをよくお読みになり、安全で正しい使い方をご指導下さい。
- オートバイ運転中の携帯電話や通信機等の使用に関しては、事前に使用地域の法律条例等をよくご確認ください。
- オートバイ運転中に本製品を使用する場合、自己責任で安全運転を心掛けてください。
- 表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をご理解の上、本文をお読み下さい。

**危険** 指示に従わない場合、死亡または重大な傷害に至ることを示します。

**警告** 指示に従わない場合、死亡または重大な傷害に至る可能性があることを示します。

**注意** 指示に従わない場合、傷害に至る可能性があることを示します。

- 警告**
  - 大音量を聞きながらの運転は危険です。運転に必要な様々な音が聞き取れなくなり、重大な事故の原因となります。また、音に集中すると運転意識の低下につながり、重大な事故の原因となります。
  - 雷鳴が聞こえた場合、ただちに使用を中止し、安全な場所に避難して下さい。落雷や感電に見舞われる恐れがあります。
  - 医療機器などの近くでは電源を切して下さい。Bluetoothの電波は微弱ですが、医療向け計測器、心臓ペースメーカーなどの近くでは使用を控えて下さい。それら機器をお使いの場合は、機器製造メーカーや販売店に電波による影響についてをご確認下さい。
  - 飛行機の中では使用しないで下さい。電波が影響を及ぼし、事故の原因になる恐れがあります。

- 注意**
  - 分解、改造、修理をしないで下さい。本製品の発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となり、ケガをする恐れがあります。
  - 水がかかる場所への放置、または水没させないで下さい。本製品は防滴仕様ですが、長時間にわたり水がかかる環境下での使用は想定しておりません。また、本体が濡れた状態や濡れた手でマイクパーツや miniUSB ジャック接続パーツの着脱を行わないでください。発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となります。
  - 高温多湿になる場所、熱器具の近くでの充電、放置は避けて下さい。発熱、破裂、発火、感電、本体の変形、故障の原因となります。
  - 異常状態のまま使い続けないで下さい。発煙や焦げ臭いなどの異常を放置して使用すると、発熱、破裂、発火、感電、本体の変形、故障の原因となります。ただちに使用を中止して、販売店に検査及び修理の依頼をして下さい。
  - ボリューム設定に気を付けて下さい。突然の大音量、継続的な大音量は鼓膜の損傷や難聴の原因となります。
  - 自動ドアなどの近くでは使用しないで下さい。自動ドアや火災報知器の自動制御装置が誤作動する恐れがあります。
  - 気温の低い場所から、屋内などへ移動した場合、本体内に結露が発生することがあり、そのまま使用を続けたり、充電をすると発熱、破裂、発火、故障の原因となります。

- 警告**
- バッテリーパックから漏れた液が目や肌に付着した時は、こすらずに清潔な水で洗い流して下さい。洗い流した後は、早急に眼科や皮膚科などの医師の診断を受けて下さい。漏れた液が本体内部に残っていることがあるので、お買い上げの販売店にご相談下さい。
  - 家庭用コンセントからの充電の際は指定の AC アダプターを使用して下さい。指定以外の AC アダプターを使用すると、発熱、破裂、発火、故障の原因となります。
  - AC アダプターを使用する場合、指定以外の電源、電圧で充電しないで下さい。交流 100V-240V 以外の電源、電圧で充電すると火災や故障の原因となります。
  - 長期間使用しない時は AC アダプターをコンセントから抜いて下さい。差したままの状態では、発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となります。

- 注意**
- ミニ USB ジャックに金属片を接触させないで下さい。内蔵バッテリーがショートして発熱、破裂、発火する恐れがあります。



### Bluetooth とは

Bluetooth とは短距離デジタル無線通信方式の世界標準規格です。携帯電話、パソコン、パソコン周辺機器、ゲーム機、家電製品など、Bluetooth 機能を持つ機器同士を無線で接続し、音声やデータのやり取りが可能です。

Bluetooth を使えばケーブルを使わずスッキリ手軽にワイヤレスでの接続ができます。さらに機器との間に障害物があっても通信できるので、一方の機器をバッグやポケットの中に入れて使うこともできます。Bluetooth 機能を備えた機器は増え続けており、ジャンルを超えた接続が可能になっています。(接続するには双方の Bluetooth 機器に同一のプロファイルが実装されている必要があります)

※ Bluetooth 機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、プログラミングされた機能が再現できない場合があります。

### 使用する電波

本製品は電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局無線設備として技術基準適合証明を受けています。日本国内で本製品を使用する際に無線局の免許は不要です。

#### 機器名：B+COM SB213.EVO

※ 海外では、国により電波使用制限があるため、本製品を使用する場合は現地の規定をご確認ください。

B+COM SB213.EVO は 2.4GHz 帯の電波を使用しています。この周波数帯では他の無線機器も電波を発信しています。電波干渉を防ぐため、近くで以下の機器や無線局が使用されていないかを確認し、電波干渉が起こった場合は速やかに使用を止めるか、場所を変えて使用して下さい。

- 電子レンジや心臓ペースメーカーなどの産業・科学・医療用機器など
- 工場の製造ラインなどで使用される免許を必要とする移動体識別用構内無線局
- 免許を必要としない特定小電力無線局
- アマチュア無線局
- IEEE802.11g/b 規格の無線 LAN 機器

### ご使用にあたってのご注意

- 本体に強い衝撃を与えないで下さい。破損や故障の原因となります。
- 油類を付着させないで下さい。ガソリンやオイルなどが付着すると、表面の劣化や故障の原因となります。
- 本体に無理な力をかけないで下さい。可動範囲には限りがあります。無理に力をかけると破損や故障の原因となります。
- 本体に手をかけてヘルメットを持ち運ばないで下さい。本体が破損するばかりか、本体が外れてヘルメットが落下する原因にもなります。
- 本体は走行中にヘルメットから落下しないように確実に取り付けて下さい。
- コネクターは根元を持って確実に抜き差しして下さい。ケーブルを引っ張ると破損や故障の原因となります。
- B+COM SB213.EVO を装着したヘルメットを置くときは本体に衝撃を与えないように注意してください。

### 充電方法

B+COM SB213.EVO は内蔵バッテリーで作動します。

ご使用になる前に、付属の AC アダプターを使い B+COM SB213.EVO を充電して下さい。

充電中は B+COM SB213.EVO の LED が赤色に点灯します。

充電が完了すると LED は青色に点灯します。

初めてお使いになる場合、または電池が消耗している状態からの満充電時間は約 2 時間です。

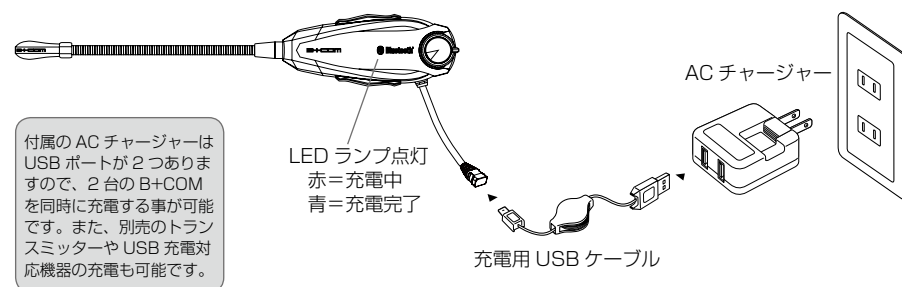
約 1 時間で 90% の充電ができます。

充電終了後も AC チャージャー接続のまま放置すると、バッテリー劣化の原因となりますのでご注意ください。

パソコンの USB ポートから付属の充電用 USB ケーブルを使用して充電することも可能です。

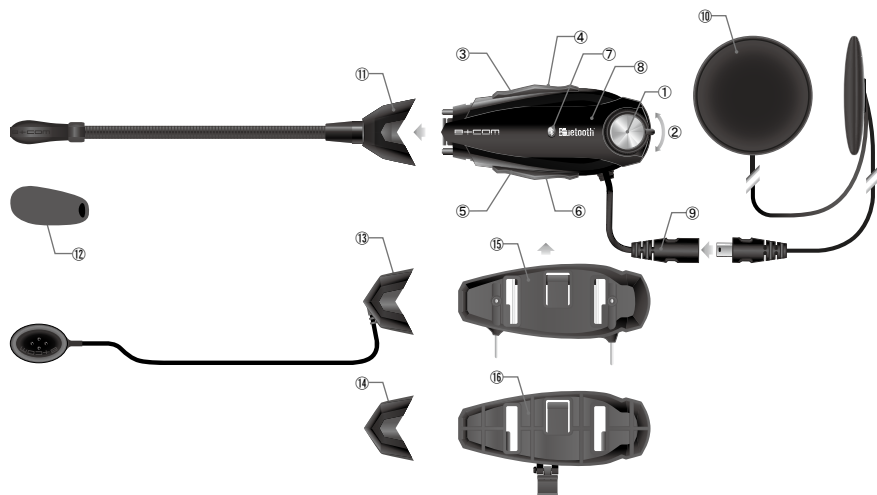
※ B+COM SB213.EVO 本体を使用しない場合でも、1 ヶ月に一度は充電を行ってください。

#### [ 接続図 ]



### ご注意！ ご使用後は必ず充電してから保管しましょう。

ツーリングなどでご使用し帰宅したら、まずは充電を行いましょう。帰宅時のバッテリー残量は大半の場合、残量が少ないことが多いはずですが、バッテリー残量が少ない状態で保管すると放電し短期間でバッテリーが劣化してしまいます。バッテリーが劣化した場合はバッテリー交換の有償修理となりますので、「使い終わったら充電」を徹底しましょう！



名称	詳細
① メインボタン	電源の ON/OFF、携帯電話やハンズフリー機器とのペアリング、携帯電話の発着信、通話の終了。メインボタンのアルミキャップはオプションで色変更が可能。
② ボリュームダイヤル	音量を調整する（16段階）、音楽プレーヤーの曲のスキップ / 頭出し。
③ AUDIO ボタン。	B+COM オプション「デュアル・オーディオ・トランスミッター」とのペアリング、音声のミュート / 再出力。Bluetooth 音楽プレーヤーとのペアリング、曲の一時停止 / 再生。
④ FANCTION ボタン	今後様々な機能を盛り込む予定のボタンです。
⑤ B+COM ボタン	他 B+COM とのペアリング、他 B+COM へのインカム通話発信（最新のペアリング先）。
⑥ Station ボタン	オプションの B+COM Station とのペアリング、Station 経由のグループ通話接続。B+COM 通話マルチプル接続時の最新から 2 番目のペアリング先へインカム通話発信。
⑦ LED	B+COM の動作状態を青と赤 LED で表示（表示状態リストは 18 ページ参照）
⑧ フェイスプレート	好みに応じて着せ替えるオプションカラーをご用意。標準添付はブラック。
⑨ 充電 / スピーカー USB 端子	本機の充電、スピーカーの接続、PC でのプログラムアップデートの接続端子。
⑩ ヘルメットスピーカー	径 50mm、厚み約 8 mm の薄型、高音質ステレオスピーカーです。
⑪ アームマイク	風切り音を軽減する高性能デジタル ECM です。ジェットヘルメットからフルフェイスまでどんなタイプのヘルメットでも使用が可能です。長さは 170mm でオプションの 50 mm 長い 220mm タイプもご用意。消耗や破損した場合も交換が可能です。
⑫ マイクスポンジ	マイクに被せる事で物理的に風切り音を軽減しますので、必ず使用してください。
⑬ ケーブルマイク	フルフェイスに最適なマイクです。スピーカーと同等、マイクをヘルメットに仕込めば後は本体ユニットの着脱だけで使い回しが可能です。
⑭ マイクレスキャップ	音楽やナビの音声などを聴くだけならマイクは邪魔になります。そんな時にはマイクレスキャップで使用すればスタイリッシュで快適に音声を聴けます。
⑮ ワイヤークリップベース	本体ユニットをヘルメットに装着するためのベースです。ヘルメットの帽体に下から挟み込んで固定するベースです。着脱も簡単で外せば何も無い状態でキズも付きません。
⑯ 貼り付け型ベース	本体ユニットをヘルメットに装着するためのベースです。ヘルメットの外側に直接貼り付けるベースです。

## ● B+COM Station（発売予定）



### 最大 6 人のグループ通話用サーバー

B+COM Station に最大 6 台の B+COM を接続することにより、Station を介して最大 6 人での同時通話が可能です。また、Station 本体ヘナビなどの音声を入力端子に接続することにより、グループ通話をしながらナビやレーダーの音声を共有可能です。

## ● B+COM デュアルオーディオトランスミッター



### 最大 2 台の B+COM へ音声を送信

音楽プレーヤーやナビのヘッドホン端子へ接続し、2 台の B+COM へ同時に音声をワイヤレス転送します。バイク専用設計のため防滴構造となっており、電池内蔵タイプと車体から電源を取る 2 種類のラインナップです。

## ● B+COM MIXTURE オーディオ・ミクスチャー



### 音楽・ナビ・レーダーの音声ミックス！

B+COM のオーディオチャンネルには 1 つの機器しか接続できません。その欠点をカバーする電源不要の音声ミキサーです。3 つのコネクターに接続された音声を 1 つの音にミックスして Line Out 端子へ出力します。Line Out 端子へトランスミッターを接続することにより、B+COM で全ての音声を聞くことが可能となります。

### ●ヘルメットスピーカー



ヘルメットを複数お持ちの方は、予めスピーカーのみを仕込むと本体のみの載せ替えですみます。

### ●フェイスプレート



リペア用ブラック、ホワイト、レッド、ヘアラインシルバー、スター等全 7 色に着せ替え可能です。

### ●メインボタン



4 色入りのアルミプレートをご用意。

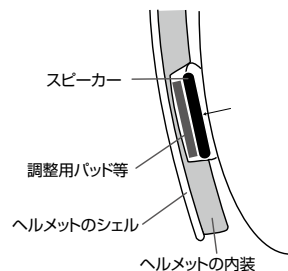
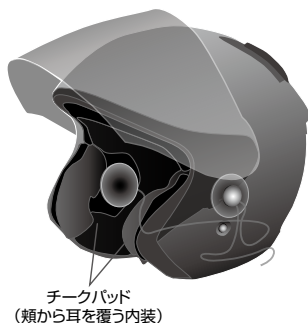
### ●オプションマイク



本体に同梱のマイク 2 種と、システムヘルメットなどに最適な下出しタイプの 5cm ロングのアームマイク、車やアウトドア使用に便利なアームレスマイク（クリップ付）をご用意。

## ①ヘルメットスピーカーの取付

※内装が脱着できるヘルメットは、耳に当たる部分の内装（チークパッド）を外しておく、作業がスムーズに進みます。



Arai 社製ヘルメットなどの、布で覆われた外せるチークパッドの場合は、チークパッドを取り外し布をめくり内装と外布の中へスピーカーを入れてください。

SHOEI 社製ヘルメットや、クラシックタイプのジェットヘルメットなど、イヤースペースが見えるタイプはこの部分にスピーカーを貼り付けて設置してください。

できる限り耳の穴とスピーカーの中心を合わせ、耳にやさしくフィットする位置へ設置してください。

ヘルメットのイヤールールが深い等の場合は、付属の調整パッドで調整してください。付属のパッド等で固定や調整が難しい場合は、ホームセンター等で調整しやすいものをお買い求めの上、装着してください。

スピーカーが正しくフィットされていない場合、B+COM SB213.EVO 本来の音量、音質が得られない場合がございます。

ジェットヘルメットなどのヘルメットは外音が入ることが多く、フルフェイスタイプと比べると音質が劣る傾向になります。また、フルフェイスタイプであってもシールドの半開きやエアインテークの開閉状態により外音の入り込みが大きくなり、本来の音量、音質が得られない場合がございます。

ヘルメットによりスピーカーが簡単に取付できないヘルメットの場合にヘルメットを加工する場合、お客様の自己責任の上で行ってください。または、ヘルメットをご購入された販売店様へご相談ください。

## ■左右スピーカー間のケーブルについて

スピーカー間のケーブルは内装とヘルメット帽体の間にケーブルを通してください。クラシックジェットタイプ等内装が外せない場合は、ヘルメット淵の帽体と内装の間にケーブルを傷つけないように押し込んでください。

## ②マイクの取付

※内装が脱着できるヘルメットは、耳に当たる部分の内装（チークパッド左）を外しておく、作業がスムーズに進みます。

SB213.EVO は、ヘルメットのタイプに合わせたマイクを 2 種類ご用意しています。



## ■アーム型マイクを使用する場合（全てのヘルメットタイプでご使用可能）

- ① アーム型マイクを本体ユニットに差し込んで取付してください。
- ② マイクにマイク用スポンジを被せます。
- ③ マイクの長さを考慮して本体ユニットの取付位置を仮決めてください。この際、次ページ「③本体ユニットの取付」で装着をする場合にアームマイクの長さが足りない場合は、別売のロングアームマイクをご利用ください。

## ■ケーブル型マイクを使用する場合（基本的にはフルフェイスヘルメット向け）

- ① ケーブル型マイクのマイク部をケーブル型マイク固定用両面テープでヘルメットの口元に固定します。

貼り付ける場所は口元に近い位置がベストですが、エアインテークなどで流速の早い風が通る場合があります。そのような場合、風切り音となって大きいノイズが相手に聞こえてしまう場合がありますので、影響の少ない位置へ移動してください。

特にタンデム時、パッセンジャーはライダーからの巻き込み風がヘルメットに強く当たりまますので、ヘルメット内へ侵入した巻き込み風がノイズとして相手に大きく聞こえる場合があります、シールドが半開き状態はさらに増大しますのでご注意ください。

- ② マイクの長さを考慮して本体ユニットの取付位置を仮決めてください。

## ■マイクを使用しないで音楽やナビの音声を聴くだけの使用をしたい場合

- ① 付属のマイクレスキャップを本体ユニットに差し込んで取付してください。

## ご注意！ マイクの着脱は丁寧に、そして確実に。

付属のマイクは消耗部品につき、使用過程での破損および断線等は補償対象外となります。特に、マイクの抜き差しを斜めから抜き差ししたり、マイクケーブルを持って引っ張ってマイクを取り外したりすると断線する場合があります。

## ヘルメットへの装着方法（続き）

### ③ SB213.EVO 本体ユニットの装着

※内装が脱着できるヘルメットは、耳に当たる部分の内装（チークパッド左）を外しておく、作業がスムーズに進みます。

SB213.EVO は 2 種類の本体取付ベースを同梱していますので、ヘルメットの仕様や使い勝手により取付方法をお選びください。

●ワイヤークリップ型ベース

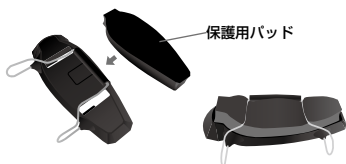


●貼り付け型ベース

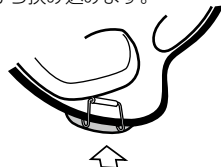


#### ■ワイヤークリップ型ベースを使用する場合

① 付属の保護用パッドをベースのクリップを軽く開いて間に挟み込ませて貼り付けます。



② 仮決めした装着位置のヘルメットの帽体と内装の間にクリップを差し込み下から挟み込みます。



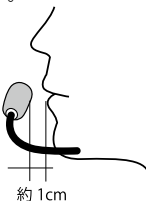
③ SB213.EVO 本体ユニットを②で取り付けたベースに装着します。

●脱着式ヘルメット取り付けホルダー



④ 本体にスピーカーを接続し、マイクにはスポンジを被せ図のように口元に位置を合わせて完了です。

ワイヤーマイクの場合は、スピーカーとマイクを接続して完了です。



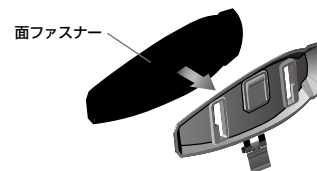
### 活躍の場が広がる便利なオプションマイク

- ◎アンダー出しオプションロングマイクで好みの位置へ
- ◎自転車での使用、車運転での使用、レクリエーションでの使用に便利な、オプションアームレスマイク！

## ヘルメットへの装着方法（続き）

#### ■貼り付け型ベースを使用する場合

① 付属の面ファスナーを貼り付けベースに貼り付けます。ヘルメットとベースのカーブが大きく違う場合は市販の強力な両面接着シートで隙間分を埋めてから貼り付けます。



② 仮決めした装着位置のヘルメットの帽体へ①のベースを貼り付けます。



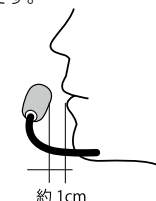
③ SB213.EVO 本体ユニットを②で取り付けたベースに装着します。

●脱着式ヘルメット取り付けホルダー



④ 本体にスピーカーを接続し、マイクにはスポンジを被せ図のように口元に位置を合わせて完了です。

ワイヤーマイクの場合は、スピーカーとマイクを接続して完了です。



## 11

### 電源の ON/OFF、ボリューム調整

#### 電源を入れる メインボタンを 3 秒間長押し⇒電源 ON

このボタン（メインボタン）で操作  
3 秒間長押し⇒電源 ON  
⇒ 5 秒間長押し⇒電源 OFF



スピーカーからステップアップビーブ音が出力され、本体の LED ランプが 1 秒間青色に点灯し電源が入ります。その後、ビーブ音と LED 点灯表示で電池の残量を通知します。

- ・青 LED 点灯 ⇒ 使用可能～満充電（高音のビーブ音 2 回）
- ・青赤 LED 同時点灯 ⇒ まもなく要充電（高音のビーブ音）
- ・赤 LED 点灯 ⇒ 要充電（低音のビーブ音）

#### 電源を切る 電源 ON ⇒ 5 秒間長押し⇒電源 OFF

赤 LED が点灯し、スピーカーからステップダウンビーブ音が聞こえ、電源が切れます。

#### ボリュームを調整する

ボリュームレベルは 0 から 16 までの 16 段階で調整可能です。ダイヤルを上または下へ 1 回ずつクリックすると 1 段階ずつ音量が変わります。走行中の操作は親指での操作がスムーズです。

SB213.EVO のシステム音（ビーブ音）の音量調整はできません。室内では音量が大きいものの走行中は最適な音量となっております。

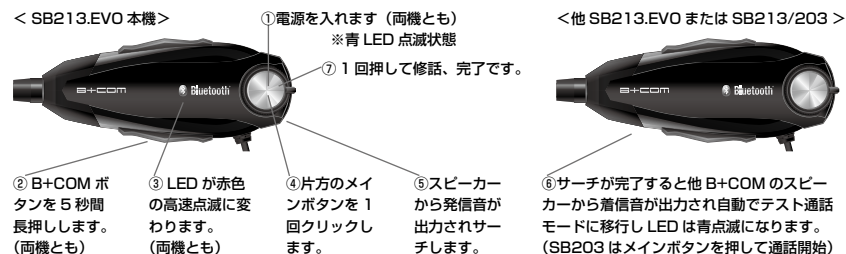
### Bluetooth 通信をするには機器同士のペアリング（初期登録）を行います。

B+COM SB213.EVO と各機器を Bluetooth でワイヤレス接続する場合は、その機器同士でペアリング（初期登録）を行う必要があります。ペアリングを行うと各機器内にその情報が登録されるため、電源の ON/OFF を行っても情報は消えません。ただし、リセットや他の機器とペアリングした場合は以前の登録情報が上書き消去される場合がありますので、その場合は再度ペアリングを行ってください。また、本機に登録できるペアリング済み機器情報は合計 8 台までとなり、古い順に上書き消去されます。

特別な理由が無い限り（B+COM デュアルトランスミッターとの 2 台ペアリング時）、ペアリング作業の際は、ペアリングする 2 台以外の Bluetooth 機器は電源を OFF にするか、Bluetooth 機能を OFF にしてください。

### ① B+COM 通話（インカム通話）のためのペアリング（初期登録）方法

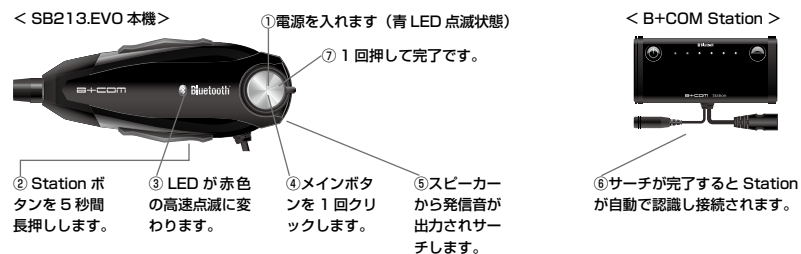
B+COM SB213.EVO 同士や SB213 または SB203 とのペアリングは以下①～⑦の手順で行います。



B+COM 同士のペアリングは 2 台のみで行います。複数台での同時ペアリングはできません。マルチプル接続のために複数台とペアリングする場合は、順番にペアリングを行ってください。その際、ペアリングする 2 台以外の B+COM は、必ず電源を OFF にしてください。

### ② SB213.EVO と別売 B+COM Station とのペアリング（初期登録）方法

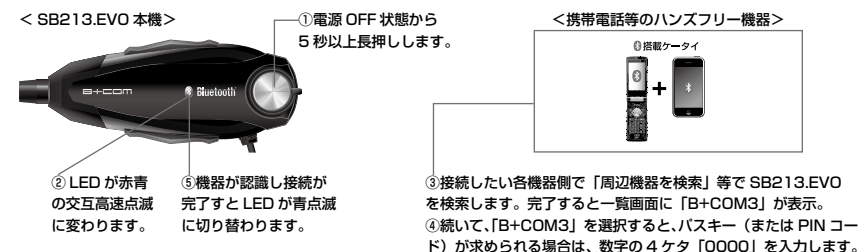
B+COM SB213.EVO と B+COM Station のペアリングは以下①～⑦の手順で行います。



B+COM Station とのペアリングは複数台で同時にはできません。Station とペアリングする際は、1 台ずつペアリングを行ってください。その際、他 B+COM は必ず電源を OFF にしてください。

### ③ 携帯電話、ナビゲーション（HSP/HFP）、無線機等とのペアリング

Bluetooth の接続プロファイルが「HSP/HFP」との機器とペアリングする方法です。

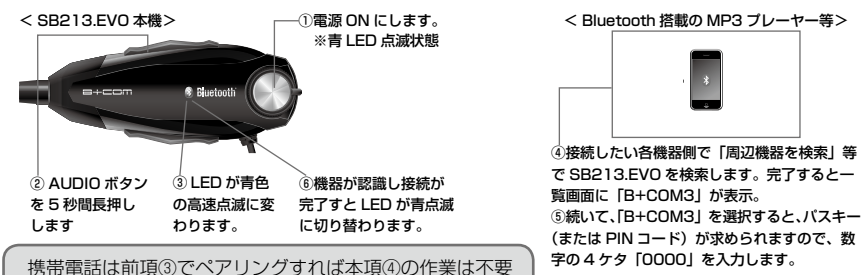


接続する各機器の操作方法は、各機器側の取扱説明書をご覧ください。

携帯電話代表機種、ZUMO660、FTM10 側の操作方法は弊社 WEB サイトでチェック！

### ④ Bluetooth 搭載の音楽プレーヤーとのペアリング

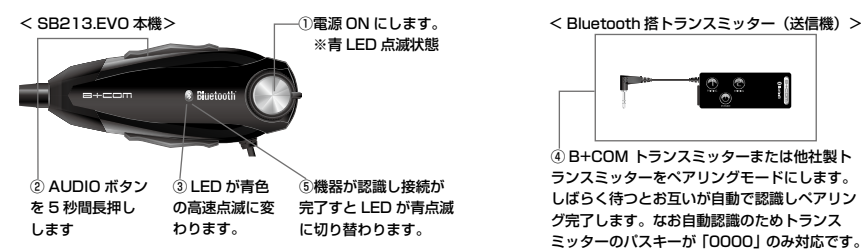
Bluetooth の接続プロファイルが「A2DP」の機器とペアリングする方法です。



携帯電話は前項③でペアリングすれば本項④の作業は不要

### ⑤ Bluetooth トランスミッター（送信機）とのペアリング

別売の「B+COM デュアル・オーディオ・トランスミッター」または他社製送信機とのペアリング方法。



SB213.EVO と別売「B+COM デュアル・オーディオ・トランスミッター」とのペアリング方法は弊社 WEB サイトをご覧ください。特に 2 人でのご使用の場合は大変重要です。



### ペアリング（初期登録）完了したら各機器と接続してワイヤレス機能を楽しもう。

B+COM SB213.EVO と各機器を Bluetooth でペアリング（初期登録）を行えば、各機器とのペアリングはもう必要ありません。ペアリング済みの機器と本機の電源を入れて接続操作をするだけです。

**各機器と接続するには、必ずペアリング（14 ページ参照）を行ってから！**

#### ① B+COM 同士の B+COM 通話（インカム通話）をする

< SB213.EVO 本機 >



- ② B+COM1 ボタンを 1 回押します。スピーカーから発音音が出力され相手への接続を待ちます。（どちらからでも発音可能です）
- ④ 通話を終了する場合は、メインボタンを 1 回押すと通話が終了します。（どちらからでも操作可能です）

< 他 SB213.EVO または SB213/203 >



- ③ 相手からの着信を認識すると着信音が出力され開通し通話が可能になります。（SB203 はメインボタンを押して通話開始）

マルチプル接続機能により SB213.EVO とペアリング済みの他 B+COM とは最大 8 台まで同時に接続が可能です。ただし同時に通話ができるのはその内の一人と 1 対 1 の通話となります。自分の B+COM から見た場合、自分から発信出来る相手は一番最後にペアリングした相手のみとなります。他の相手からは着信を受けるだけとなります。

#### ② 別売 B+COM Station を介してグループ通話をする

< SB213.EVO 本機 >



- ② B+COM2 ボタンを 1 回押します。スピーカーから発音音が出力され相手への接続を待ちます。
- ④ グループ通話から抜けたい場合は、メインボタンを 1 回押してグループから修話ができます。

< B+COM Station >



- ③ Station が着信を認識すると Station を介したグループ通話が始まります。

B+COM Station との接続動作に関しては Station 説明書が弊社 WEB サイトをご覧ください。

#### ③ 携帯電話のハンズフリー通話をする

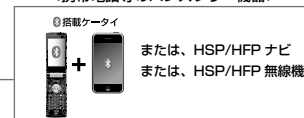
Bluetooth の接続プロファイルが「HSP/HFP」との機器と接続してワイヤレスで通話が可能です。

< SB213.EVO 本機 >



- ① 電源 ON にします。
- ④ 接続が完了すると「ピッ」または「ピッピッ」と出力され、接続が完了します。接続待ちの機器の場合は、メインボタンを 1 回押すことで接続が開始されます。
- ⑤ 携帯電話に着信があればメインボタンを 1 回押すと通話開始され、もう一度ボタンを押すと修話します。
- ⑥ メインボタンを 2 回押すことで、接続中の携帯電話の最新発信履歴にリダイヤル発信が可能です。相手が電話を切るか、ボタンを 1 回押すことで修話します。

< 携帯電話等のハンズフリー機器 >



- ⑦ 携帯電話または機器の Bluetooth 機能を ON にします。
- ⑧ 登録済みの「B+COM3」を選択し接続するか、「接続待ち」等で SB213.EVO からの接続を待ちます。

携帯電話を 2 台接続する際は、1 台ずつ上記の手順で接続してからご使用ください。なお、2 台接続時は 2 台目に接続した携帯電話からのみ B+COM 操作でリダイヤル発信が可能です。接続する各機器の操作方法は、各機器側の取扱説明書をご覧ください。携帯電話代表機種、ZUMO660、FTM10 側の操作方法は弊社 WEB サイトでチェック！

#### ④ Bluetooth 音楽機器やトランスミッターと接続して、音楽やナビ音声を聴く。

Bluetooth の接続プロファイルが「A2DP」の機器と接続して高音質のステレオで受信&出力します。また、リモコン機能「AVRCP」搭載の音楽機器は、SB213.EVO でリモコン操作が可能です。

< SB213.EVO 本機 >



- ① 電源 ON にします。
- ⑤ 接続が完了すると「ピッ」と出力され、接続が完了します。
- ⑥ ボリュームダイヤルを 2 秒間、上/下させたまにすると、上=曲のスキップ、下=曲の頭出しが可能です。ただし、AVRCP 搭載の音楽機器のみ対応可能です（操作不可もあり）。
- ⑦ AUDIO ボタンは 1 回押し毎に音声ミュート/再出力（B+COM トランスミッターのみ）または、曲の一時停止/再生（AVRCP 搭載機器）が可能です。

< Bluetooth 搭載の MP3 プレーヤー等 >



- ② トランスミッターの電源を ON にします。
- ③ Bluetooth 音楽機器の場合は、機器に登録済みの「B+COM3」を選択し接続します。
- ④ トランスミッターを音楽プレーヤーやナビのイヤホン端子に接続して音楽などを再生してください。または、Bluetooth 音楽機器で曲を再生してください。

携帯電話内の音楽機能で音楽を聞きたい場合は、前項③の操作のみで O.K（A2DP 搭載機）。携帯電話は、通話の為に HSP/HFP とともに音楽機能の A2DP/AVRCP も搭載されている事が多く、それらの携帯電話と接続することで、通話機能と音楽機能の両方で接続され使用可能です。トランスミッター（音楽/ナビ用として）と携帯電話（通話用として）を両方使用する場合は、トランスミッターを先に接続してから、携帯電話を接続してください。

**オーディオチャンネル（A2DP）に接続できるのは 1 つです。その問題を解決する、3 つの音声を一つにまとめる B+COM オーディオ MIXTURE で快適！**

適正な操作を行っても「ペアリングがうまくできない」「ボタンを押しても反応しない」など正しく動作しない場合は、リセット作業を行いB+COM SB213.EVO を初期状態に戻して下さい。

< SB213.EVO 本機 >



※リセット作業を行った場合、再度ペアリング作業を行って下さい。

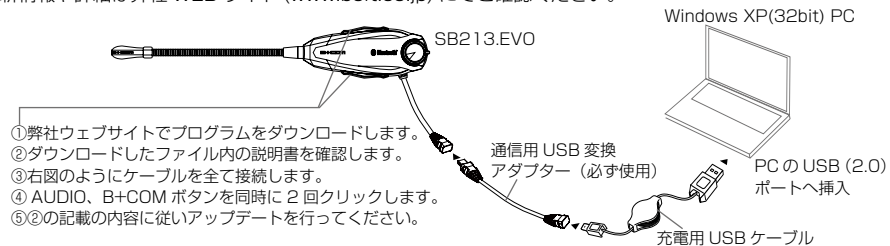
- ①電源は OFF で行います。
- ②メインボタン、FUNCTION ボタン、Station ボタンの3つボタンを同時に5秒間長押しします。
- ③LED が赤青同時に1秒間点灯し完了です。

状況	点灯パターン	状態
スタートアップ時	青 LED 点滅	電源 ON
電池残量チェック (電源 ON 直後 / FUNCTION ボタン)	青 LED 1 秒間点灯	電池残量  良好です。そのままご使用ください。
	青+赤 LED 1 秒間点灯	電池残量  まもなく要充電ですが使用可能です。
	赤 LED 1 秒間点灯	電池残量  要充電です。充電してからご使用ください。
電源 ON 中	青 LED 3 秒間隔 1 回点滅	電源 ON、接続待機状態
	赤 LED 高速点滅	B+COM 同士のペアリングモード (ペアリング待機中)
	青赤 LED 交互高速点滅	HSP/HFP ペアリングモード (ペアリング待機中)
	青 LED 高速点滅	A2DP ペアリングモード (ペアリング待機中)
充電中	青 LED 3 秒間隔 2 回点滅	Bluetooth 機器と接続中
	赤 LED 点灯	バッテリー充電中
リセット時	青 LED 点灯	バッテリー充電完了
シャットダウン時	青+赤 LED 1 秒点灯	リセット完了
	赤 LED 1 秒間点灯	消灯後、電源 OFF になります。

<動作可能環境：OS が WINDOWS XP、インターネット接続>

(2011 年 4 月現在)

インターネットを利用して SB213.EVO 専用のプログラムアップデートを行うことで、SB213.EVO の機能をアップしたり、新型端末機種や接続機器への対応を最適化して快適に使用できるようにします。プログラムは SB213.EVO (本製品) と SB213 とはそれぞれプログラムが異なりますのでご注意ください。最新情報や詳細は弊社 WEB サイト (www.bolt.co.jp) にてご確認ください。



- ①弊社ウェブサイトからプログラムをダウンロードします。
- ②ダウンロードしたファイル内の説明書を確認します。
- ③右図のようにケーブルを全て接続します。
- ④AUDIO、B+COM ボタンを同時に2回クリックします。
- ⑤②の記載の内容に従いアップデートを行ってください。

#### SB213.EVO の PC へ接続時の注意点

- PC に接続している全ての Bluetooth 機器を OFF にしてください。
- USB ポートに接続している Bluetooth アダプタ等 (マウス等) も取り外してください。
- PC の Bluetooth 機能をデバイスから OFF にするか、プログラムをダウンロード後、ワイヤレス機能を OFF にしてください。

※全ての接続機器に最適化されたアップデートを行う想定はありません。またプログラム開発に時間を要する場合がございます。

### B+COM SB213.EVO が携帯電話とうまく連動しない・・・

- 本機の電源が ON になっているかを確認してください。
- バッテリーが十分に充電されているか確認してください。
- 携帯電話が通話可能かどうかを確認してください。
- 携帯電話の Bluetooth 機能が ON になっているかを確認してください。
- 本機と携帯電話のペアリング (初期登録) が正常に完了しているか確認してください。
- 本機をリセットしてから携帯電話の取扱説明書を参照してペアリングをやり直してください。
- docomo 系は Bluetooth メニュー内の着信音送出設定を「送らない」に設定されているか確認してください。
- au 系は本機と接続時、電話機は「接続待ち」にしてから本機のメインボタンを 1 回押して接続してください。

### 通話相手にこちらの声が聞こえない・・・

- 本体にマイクパーツが確実に取り付けられているかを確認してください。
- マイクの集音ホールの向きが口の方向を向いているか確認してください。

### 通話相手の声が聞こえない・・・

- スピーカーボリュームダイヤルで音量を上げてみてください。
- ヘルメットスピーカー、スピーカー変換ケーブル、B+COM 本体が正確に接続されているかを確認してください。

### 他に質問があるのですが・・・

- 弊社 WEB サイト (www.bolt.co.jp) 内「B+COM FAQ」をご覧ください。
- 保証書に記載されている連絡先までお問い合わせください。

※「Bluetooth」機器の機種によっては、その特性・仕様・設定・使用状況等により、操作方法が異なる事や、動作が限られたり、不安定な状態や動作不能が起こる場合があります。

Bluetooth Ver.	: 2.1+EDR
チップ	: CSR BC05MM SH オリジナル 3 チャンネルタイプ
RF レンジ	: Class1 (B+COM チャンネル)/ Class2( 携帯電話チャンネル & オーディオチャンネル)
スピーカー	: 2 スピーカー 40mm, 8Ω, 0.5W モノラル時も 2 スピーカー
Pin No.	: 0000 (B+COM SB213/SB203 とのマッチングは自動)
バッテリー	: 内蔵型リチウムポリマー電池 3.7V 容量 600mAh
充電電圧	: 入力 AC100V-240V、出力 DC5V-0.8mAh AC アダプター +USB ケーブル 充電時間約 2 時間
連続使用時間	: 携帯電話最大通話時間 約 17.2 時間 待受け時間 約 500 時間 (4-12mAh) オーディオ最大使用時間 約 16 時間 B+COM 最大使用時間 約 11 時間 ※使用環境により大幅に差異が生じる場合があります。(温度、音量等)
電波仕様	: キャリア周波数 2.402 ~ 2.480GHz データ伝送速度 3Mbps (最大)
周波数拡散方式	: FHSS (Frequency Hopping Spread Spectrum)
変調方式	: GFSK (Gaussian Frequency Shift Keying)
電波到達範囲	: 約 100m (標準プログラム使用の B+COM 通話で双方の間に障害物の無い場合)
対応プロファイル	: GAP、HSP、HFP、AVRCP、GAVDP、A2DP、ICP
認証	: Bluetooth、TELEC、PSE
本体サイズ / 重量	: 97.6 × 43.0 × 26.0 (マイク部 180.0) mm、56 g (内蔵バッテリー含む本体のみ)